



南戸塚中だより

令和4年度 第11号
 令和5年3月22日発行
 学校長 赤堀 貴
 電話 871-7611



明るい未来に向かって ~自分で掴もう!~

3年前の今頃、新型コロナウイルス感染の恐怖が世界中を襲い、学校が長期休校や分散登校になるなど、考えられない状況となりました。当時、生徒に「夜明けの来ない夜はありません」と話しました。新型コロナがゼロになった訳ではありませんが、感染者数も減少し、予防や治療も信頼できるようになりました。学校でも4月からマスク着用が個人判断となります。この状況が「夜明け」と言っているのかは分かりませんが、明るい兆しです。

歴史を振り返ると、不治の病とされ恐れられていた病気も、治るようになったものがたくさんあります。人間の力は凄いものです。新型コロナも、医療崩壊や死者数の増加が伝えられていたころは、自分が、または身近にいる大切な人がコロナで死んでしまうかもしれない治らない病気ではないかと不安になりました。

人間は困難をチャンスに替えることができるのだと改めて感じました。若いみなさんは、成長していくチャンスがこれからもたくさんあります。待っているのではなく、自分から行動して、できることを増やしていきましょう。楽しいことをたくさん作りましょう。自分で夢を掴んでいきましょう。明るい未来に向かって。

学校保健委員会

2月22日(水)、学校保健委員会が開催されました。今回のテーマは「換気」。新型コロナ感染拡大防止のため、換気を意識する生活になりました。今年度は各教室にCO₂モニターも設置され、CO₂濃度が1,000ppmを目安に、1,500ppmを超えないよう換気するという基準が示されました。気温や湿度までは測ることに慣れていましたが、とうとうCO₂濃度まで測る時代になったのですね。空気はきれいに越したことはありませんが、目に見えないものを判断するというのは大変です。一酸化炭素中毒なども、目に見えないから気付かず重篤な事態

になってしまうことがあります。家庭用のガスはわざと匂いをつけていて、ガス臭いと認識できるようにされています。教室で効果的な換気ができるよう、保健委員が学習し

タイトル上のメッセージ

令和4年度最後の曲は、“Top of the world.”です。
 「私は世界(幸せ)の頂点にいる」こんな気持ちになれる瞬間が訪れたら、本当に最高ですね。いいことが無い訳ではありませんが、50代のおじさんにはちょっと考えられません。かつて、水泳の岩崎恭子さんが、バルセロナ五輪、女子200m平泳ぎで14歳と6日という史上最年少で金メダリストになった直後のインタビューで「今まで生きてた中で一番幸せです」と言っていたのですが、このシーンを思い出してしまいました。この歌では、恋愛がうまく行って最高と感じているようです。人生もちろんいいことばかりではありませんが、“Top of the world.”と感じる瞬間が何度か訪れるといいですね。

たことをより多くの生徒に伝えていってください。以下、保健委員の感想です。

- ・換気は、ただ窓を開ければいいのではなく、その位置、風の流れを気にして開けることが大切だと分かった。換気すると、自分の気持ちもなんかすっきりした。
- ・「対角線」を意識して窓を開けるとのがよいと実験で分かった。



第37回 卒業証書授与式

3月8日(水)、例年よりも暖かい穏やかな好天に恵まれ、厳粛な雰囲気の中で卒業式を終えることができました。卒業式対応のマスク着用基準に合わせ、今回は証書を受け取る時はマスク無しとなり、3年生ひとり一人の表情を見ながら証書を渡すことができました。

卒業生代表「門出のことば」では、「3年前の4月6日、私達はこの南戸塚中学校の正門をくぐりました。新型コロナウイルスの影響により、保護者なしで行った入学式。初めて出会うクラスメイトや、例年とは違った形での中学校生活のスタート。期待よりも不安でいっぱいだったことを今でも覚えています。あれから3年、今までの出来事が昨日のここのように思い出されます。」「がまんの多かった3年間の中で、私達だからこそ思い出をたくさん作れたのではないのでしょうか。この先、私達ならどんな事でも乗り越えていけると思います」と力強いメッセージが読み上げられました。

・ ・ ・ ・ ・

私も今年の卒業生と同じ3年前に初めて校長となって、南戸塚中学校に赴任しました。小雀小出身なので、この場所は子どもの頃に飛び回っていたところです。まだ何も無い造成地で、学校やこんなに多くの家が建つとは想像もしていませんでした。道もありませんでした。本校の校歌は「道だ 道だ、新しい道だ くっきりと伸びてゆく 新しい道だ」という歌詞で始まりますが、本当にそうだなって思えるのです。卒業式で隣にいた副校長先生が、「校長先生は校歌をちゃんと歌えるのですね」と言ってくれたのですが、こんな思いもあるから、大好きな校歌でした。

小学生から中学生になって、自分の世界が広がったように、中学生から高校生になると、もっと世界が広がります。さらに大人になるにつれて世界が広がっていき、日本国内だけでなく、世界中の場所で、世界中の人々と交流し、活躍していくことになるでしょう。“戸塚” という



場所から巣立ったみなさんが、新しい世界で活躍し、明るい、楽しい、充実した人生を送って欲しいと願っています。そんな中でも、子どもの頃に過ごした街、“戸塚” は特別な場所であると思います。思い出がいっぱいだから。戸塚に住み続ける人も多いと思いますが、戸塚を離れる人もいるでしょう。そんな人も、もしかしたら私のように、縁あってまた戸塚に戻って来ることがあるかもしれません。この町で、この南戸塚中学校で過ごした時間が心の中の宝物となって、思い出すと元気になれる、そんな3年間であつたらうれしいです。

南戸塚中学校のみなさんは、挨拶がしっかりできます。どこでも、誰とでも仲良くなれる力を持っています。この伝統を大切に、卒業生も、現役生も、そしてこれから中学生に仲間入りする子どもたちにも、自慢の中学校であり続けましょう。